

平成26年度 第2回学校評議員会記録

日時	平成26年12月15日(月) 10:00~11:45
場所	本校校長室
参加者	評議員：宮良有子(元本校小学部教諭) 金城正和(ハローワーク上席職業指導官) 校長、教頭 計4名
内容	(1) 学校長挨拶 (2) 授業参観 (3) 平成26年度学校評価について (4) 意見、情報交換、その他

○授業参観

- 幼・小 : 二学期の学習のまとめ、お楽しみ会に向けて
中 : 作業学習(家庭科班:調理 クッキー作り等)
高 : 総合「書道 書き初めに向けて」、高等部3年3名就業体験へ

○意見交換

- 校長から これまでの学校経営について
教頭から 平成26年度実施の学校評価についての説明とこれからの取り組みについて

(意見、質問、感想)

- ①授業参観をさせてもらった。今八重山教育事務所の依頼で学校アシスト相談員をしている。普通学校では、日常的に取り組むことが多くて、子ども職員共に慌ただしくゆとりがない。支援学校の先生方の対応を見ていると温かさが伝わってくる。子どもひとりひとりに対する支援が充実している。子どもたちの表情も明るく、笑顔も見られるのがとても良い。普通学校との環境の違いが、子どもたちの成長に現れてるように思う。これまでの取り組んで来たことが、現在行っている「キャリア教育」へと引き継がれていると思う。継続して行くことが大切だと思う。(宮良)
- ②現在、障害者の就労支援に携わっている。初めて学校に来ることができて、子どもたちの学習している様子や表情を直接見ることもできた。先生方の対応を見ているとサポートが行き届いていると思った。連携もよく取れていると思う。生徒たちが卒業してから厳しい問題に直面することがある。職場の中で親しくなっていくのは良いが目上人に対する言葉遣いができていないケースが指摘されることがある。言葉遣いも含めて、人とのコミュニケーションについて学校教育の中で取り組んで行く必要があるように思う。(金城)